

NO 256

全 仏

3 / 55



彼岸

寺の墓地の一隅に、首から上の病氣によく効くと信仰の厚い地藏菩薩が祀られている。

寒い冬の朝、白い杖をついた白髪の老人が、一心に頭をたれ祈っていた。老人の心の中はうかがうべくもないが、知恵遅れの孫の病氣のことを祈っているのか、老いた妻に思いを馳せているのか。

凍てつく寒風の中、祈る老人の後姿に屈託は感じられなかった。長い人生を風雪にたえ歩んできたであろうその後姿には、あたたかみさえ感じられた。

だれしも願う彼岸、だれしも遠くて手が届かないと思っている彼岸、それでも私たちは歩みつづけねばならない。

毎日のためまぬ精進の中にしか彼岸はないことをかみしめた。
い。：

写真は全仏評議員会であ
らつする泰新会長
関係記事二一五面

全日本仏教会

全仏の評議員会・理事会開かる

会長には秦曹洞宗管長

全日本仏教会では、任期満了に伴う役員改選などのため、さる一月二十五日午前十一時より、東京グランドホテルにおいて、定例の評議員会・理事会を開催し、会長の推戴、事業計画、予算案などの議案を慎重に審議した。会長には、曹洞宗管長秦慧玉宛下、副会長には智山派管長上野頼栄宛下、天台座主山田恵諦宛下、大本山増上寺法主藤井実心宛下を、それぞれ推戴した。

評議員会は仮議長に田中亮三師、議長に神野真一師を選出、次いで議事録署名委員に板橋有成師、仲田順和師を指名し上程された議案の審議に入った。

議案第一号「理事及び監事選出について」

前例にない選考委員を選出し、理事などを選出する提案が出され、選考委員十一名を選出、選考委員会は別室にて協議を重ね、理事四十五名、監事三名を選出、評議員会に報告、評議員会は、報告を受け、審議の上、別掲の通り、理事、監事を選出した。

議案第二号「会長及び副会長推戴について」

前掲会長、副会長を満場一致で推戴を議決する。

議案第三号「昭和五十五年度事業計画について」

担当局長、部長より事務局案の説明をうけ、質疑応答、理事会の議決の報告をうけ、了承する。

議案第四号「昭和五十五年度歳入歳出予算について」

担当局長、部長より事務局案の説明を受け質疑応答、理事会の議決の報告をうけ、了承する。

議案第五号「WFB大会中間報告以後の決算について」

担当局長・部長より説明をうけ、理事会の議決の報告をうけ了承する。

議案第六号「事務所移転に伴う本会寄付行為の一部変更について」

同意する。

評議員会は、仮議長に田中亮三師を選出、議事録署名委員に松村寿顕師、四宮正首師を指名し、上掲された議案の審議に入った。

議案第一号「理事長及び常務理事選出について」

鯉淵正浩師（浄土宗）を選出、新理事長挨拶の後、常務理事二十一名を選出承

認（別掲）
鯉淵理事長議長のもと、以下の議案の審議に入る。
議案第二号「事務総局人事について」
事務局長の説明を受け別掲通り選出。
議案第三号「会長及び副会長の推戴について」
前掲会長、副会長を満場一致で推戴を議決する。
議案第四号「昭和五十五年度事業計画について」
担当局長、部長より事務局案の説明をうけ、質疑応答、原案通り議決する。
議案第五号「昭和五十五年度歳入歳出予算について」
担当局長、部長より事務局案の説明をうけ質疑応答、原案通り議決する。
議案第六号「WFB大会中間報告以後の決算について」
担当局長、部長より説明をうけたのち、監事岩脇宏信師の監査報告ののち、質疑応答、原案通り議決する。
議案第七号「事務所移転に伴う本会寄付行為の一部変更について」
同意する。

◇

評議員会・理事会に共通する報告事項として、事務総局より（ルンビニ）問題について（機構改革問題について）（仏教センター）設立特別委員会（仮称）設立について四同和問題について、の四点につき、報告をうけ会議を終了する。

◇……議案審議をする評議員会



55年度事業計画ならびに予算案を承認

昭和五十五年度の事業計画ならびに歳入歳出予算は、評議員会・理事会において事務局原案が承認された。

事業計画 別掲の通りほぼ前年を踏襲しているが、全仏機構改革や同和問題対策の特別委員会が設置され、これらに取り組む他に、ルンビニ復興計画に努力す

八十年代を迎えて

全日本仏教会会長 秦 慧 玉



このたび理事会のご推挙により不肖老翁が会長をつとめることになりました。去る正月役員会にてご挨拶申し上げ、多くの皆様に接し、全仏に課せられた役割の重要性を深く感じさせられました。

八十年代を迎えた世相は、更に明るさを失いつつあります。世界のニュースは動乱に明け暮れ、国内は腐敗政治と人命軽視が続発し暗澹たる様相を呈

る。また、第十三回WFBタイ大会に代表の派遣や、カンボジア難民救済活動、仏跡等への巡拝団派遣など国際交流が進められる一方、全仏大会や仏教文化会議の開催、県仏の組織強化などに力が注がれる。

歳入歳出予算 十七%増の六千一百万円の予算。歳出では日宗連の事務局年番のための共通事項処弁費、同和・機構の両委員会設置を含む時局対策費、ルンビニ・WFB大会のためのWFB関係費な

してきます。人々はその中でも光明を求め、宗教に大きな期待を寄せています。吾々仏教徒はこの際大いに奮起せねばなりません。去る第十二回世界仏教徒会議には、未来社会の仏教について討議されました。私共はその課題を再考すべき時であり、その実践に精進すべきであります。

また、その決議の中にルンビニの復興を計画しています。仏教出現の故園を復興するは、私達仏教徒の責務であり、来る四月八日の権仏会には全国の仏教徒各自が、聖地復興の念を新たにして、その運動に一層のご協力をお願い申し上げます。ここに就任のご挨拶に併せて、各位のご健勝とご精進を祈念します。

どの他、人件費、機関紙発行費などが増額となっている。

事業計画各局の内容

総務局

基本目標 本会寄付行為第五条により各種の事業遂行に必要な措置を講ずる。

実施項目 ①加盟団体との連絡提携の強化 ②諸官庁および関係諸団体との連絡 ③過年度（前年度を含む）採択事項の実施（担当事項）

組 織 局

基本目標 本会寄付行為第五条の事業目的たる仏教運動の実践および育成を主とし、時代に即応した全一仏教運動を強く推進すると共に構成団体の一層の強化と団結を期するため下記の事業を実施する。

実施項目 ①第27回全日本仏教徒会議（各種代表者会議の開催）の開催 ②未加盟団体の加盟促進 ③ブロック別各県代表者会議の開催 ④地方仏教運動の推進、地方仏教徒大会、講演会等へ協力 ⑤各地檀信徒会の充実と全国組織化の推進 ⑥時局対策 ⑦過年度採択事項の実施

国際文化局

基本目標 本会の寄付行為第五条の事業目的たる世界各国のWFBセクターおよび仏教諸団体との連絡、文化交流を中核として仏教による国際親善と世界平和の実現を期する。また仏教運動の総合的企画促進、各種仏教運動の実践育成ならびに広報活動を活発に行うことによつて全一仏教運動の促進をはかる。

実施項目 ①WFB関係 ②本部で決議された事項の実施、特にルンビニ復興計画への協力 ③WFB第十三回バンコク大会、WFB執行委員会、ユネスコ会議等への出席および代表派遣 ④その他必要な事項 ⑤国際仏教交流関係 ⑥臨時に行われる国際会議または巡拝団等への代表派遣 ⑦訪日仏教徒の歓迎接待 ⑧在日各国公館との連絡接渉 ⑨海外における各宗派開教本部との連絡提携 ⑩各国の天災戦災等に対する救援活動 ⑪その他必要な事項 ⑫渉外広報関係 ⑬英文日本仏教ニュース刊行

- ①日本仏教紹介書の刊行および寄贈
 ②その他必要な事項
 ③過年度採扱事項の実施（担当事項）
 ④各種教化資料の作成と普及
 ⑤広報宣伝に関する事項
 ⑥過年度採扱事項の実施（担当事項）
- ②日本仏教文化会議の企画および開催
 ③各種教化資料の作成と普及
 ④広報宣伝に関する事項
 ⑤過年度採扱事項の実施（担当事項）
- ①機関紙「全仏」の発行普及
- 文化部 —
- 実施項目

新らしい役員顔ぶれ

— 新役員は次の通りである —

- 会長 長 秦 慧玉（曹洞宗管長）
 副会長 山田忠諦（天台座主）
 上野頼栄（真言宗智山派管長）
 藤井実応（増上寺法主）
- 理事長 鱗淵正浩（浄土宗）
 常務理事（評議員中の◎印）
 理事（〇印）
 監事（〇印）
 評議員 — 敬称略 —
- ◎中里 徳海（天台宗）
 高橋 良暢（〃）
 杜多 信雄（〃）
 赤沼 義俊（〃）
 小林 慶存（天台寺門宗）
 石橋 問俊（天台真盛宗）
 ○森田 禅朗（和 宗）
 南谷 恵澄（〃）
 吉田 秀映（〃）
 青木 法鷹（妙見宗）
 ◎四宮 正音（孝道教団）
 安藤 正晃（〃）
 大久保正蔵（〃）
 清水谷孝尚（聖観音宗）
- ◎塩入 亮達（〃）
 田中 昭徳（〃）
 ◎長谷川 靈信（念法真教）
 大倉 律現（〃）
 ◎阿部野龍正（高野山真言宗）
 盛川 光範（〃）
 稲葉 義猛（〃）
 橋爪 良恒（〃）
 寿山 良知（〃）
 （真言宗東寺派）
- 木田 有岳（東寺真言宗）
 藤田 俊教（真言宗泉涌寺派）
 川原 快俊（真言宗山階派）
 ◎本山 完海（真言宗御室派）
 ◎浅川 義雄（真言宗大覚寺派）
 阿部 本宣（真言宗善通寺派）
 ◎別所 弘因（真言宗智山派）
 小沢 照禧（〃）
 板橋 有成（〃）
 茂木 隆心（〃）
 ◎林 亮海（真言宗豊山派）
 永見 聖宏（〃）
 吉田 俊管（〃）
 ▽岩脇 宏信（〃）
- 森 弘之（新義真言宗）
 ◎岩城 秀雄（真言宗醍醐派）
 仲田 順和（〃）
 足立 有教（真言宗因分寺派）
 井上 真誠（真言宗須磨寺派）
 池田 常輝（真言宗中山寺派）
 国定 淨運（真言三寶宗）
 田中 真瑞（信貴山真言宗）
 東条 仁哲（真言宗大鳴派）
 宮城 泰年（本山修験宗）
 ◎武田 齋彦（浄土宗）
 ◎鱗淵 正浩（〃）
 野村 宗春（〃）
 小口 輝雄（〃）
 大田 秀三（〃）
 古屋 道雄（〃）
 白井 文祥（〃）
 野呂 幸進（〃）
 山本 勝隆（浄土宗西山深草派）
 井上 俊久（浄土宗西山禅林寺派）
 ◎安井 俊雅（西山浄土宗）
 岩橋 俊正（〃）
 ◎豊原 大潤（浄土真宗本願寺派）
 ◎芝原 郷音（〃）
 ◎平 興誓（〃）
 渡辺 清波（〃）
 藤本 龍珠（〃）
 麻布 照海（〃）
 永野 鎮雄（〃）
 小泉 宗和（〃）
 ◎嶺藤 亮（真宗大谷派）
 ◎千葉 昌丸（〃）
 本多 敬虔（〃）
 大森 忍（〃）
- 龍山 亨（〃）
 笠原 保寿（〃）
 広島 照心（〃）
 ◎宮部 幸麿（〃）
 （真宗興正派）
 ◎高島 広勝（真宗高田派）
 織田 弘海（〃）
 （真宗仏光寺派）
 水島 真之（時 宗）
 夏野 義常（融通念仏宗）
 ◎後藤 純一（臨濟宗妙心寺派）
 土屋 孝喜（〃）
 裁松 完道（〃）
 千坂 精道（〃）
 来山 泰龍（〃）
 ◎本場 大龍（臨濟宗建長寺派）
 横井 邦一（臨濟宗円覚寺派）
 松浦 勝道（臨濟宗南禅寺派）
 壬生 滋雄（臨濟宗永源寺派）
 鈴木 浄雲（臨濟宗相国寺派）
 （臨濟宗建仁寺派）
 田原 周仁（臨濟宗天龍寺派）
 ◎岡田 巳成（曹洞宗）
 ◎田中 亮三（〃）
 ◎阿部 博邦（〃）
 大竹 明彦（〃）
 蔵山 光堂（〃）
 乙川 良英（〃）
 朝日 泰峯（〃）
 小川 義道（〃）

- ◎松村 寿顕 (日蓮宗) (黄檗宗)
- 吉田 文堯 (")
- 風間 円静 (")
- 伊藤 勝淳 (")
- 中野 顕文 (")
- 星野 励温 (")
- 蓮池 東洋 (法華宗本門流) (法華宗陣門流)
- 真枝 真慧 (法華宗真門流)
- 西村 日地 (本門仏立宗)
- 吉永 正晴 (顕本法華宗)
- 山下 通雄 (本門法華宗)
- 喜多 亮快 (真言律宗) (律宗)
- 多川 乗覚 (法相宗)
- 榎田 秀山 (聖徳宗)
- 狭川 宗玄 (華嚴宗)
- 松井 義海 (北海道仏教連盟)
- 大山 仙遊 (青森県仏教連盟)
- 熊谷 隆正 (岩手県仏教連盟)
- 板垣 隆寛 (山形県仏教連盟) (福島県仏教連盟)
- 竹市 文成 (群馬県仏教連盟)
- ◎塚田 賢照 (栃木県仏教連盟)
- 大越 孝仁 (茨城県仏教連盟)
- ◎岩崎 鳳栄 (埼玉県佛教会)
- 江連 俊則 (")
- ◎土持 良栄 (千葉県仏教連盟)
- ◎板井 大乗 (東京都仏教連盟)
- 畑 直孝 (")
- 神野 真一 (")
- ◎貝山 宣泰 (神奈川県仏教連盟)
- 横山 敏明 (")
- ◎広川 芳雄 (新潟県仏教連盟)
- 旭 祐栄 (石川県仏教連盟) (福井県仏教連盟)
- 大森 弘道 (山梨県仏教連盟) (長野県仏教連盟)
- ◎大石 好文 (岐阜県仏教連盟)
- ◎原田 良道 (静岡県仏教連盟)
- 山本 俊幸 (") (愛知県仏教連盟)
- 花山 顕勝 (三重県仏教連盟)
- 本辺 宣慈 (滋賀県仏教連盟)
- ◎横井 鶴洲 (京都府仏教連盟)
- 高倉 正信 (大阪府仏教連盟)
- 小西 日静 (兵庫県仏教連盟)
- 前田 孝道 (和歌山県仏教連盟)
- 本田 行典 (島根県仏教連盟)
- 華山 恵光 (岡山県仏教連盟)
- 大橋 寛阿 (徳島県仏教連盟)
- 松下 教道 (香川県仏教連盟)
- 五葉 正道 (愛媛県仏教連盟) (高知県仏教連盟)
- ▽植松 威 (朝日生命仏教研究会) (沖縄県仏教連盟)
- 壬生 照順 (近代仏教研究会) (京都仏教徒会議)
- 大橋 邦生 (国柱会)
- 友松 謙道 (真理運動本部)
- ◎山本 杉 (全日本仏教婦人連盟)
- ▽船口 暎子 (")
- 水倉 嘉文 (全日本仏教青年会)

- ◎中山 理々 (日本仏教讃仰会)
- 福井 豊信 (日本仏教保育協会) (日本山妙法寺大僧会)
- 山本 周道 (東日本詠歌連盟)
- 吉田 昭炳 (梵人会) (仏教徒政治同盟)
- 小林 嶋川 (善光寺)
- 阪谷 勝雄 (国際仏教興隆協会)
- 竹村 吉石衛門 (仏教振興財団)
- 樹谷 淳宣 (東京ブディストクラブ)
- ◎沼田 恵範 (仏教伝道協会)
- 山崎 良順 (世界平和同願会)

仏英研スピーチコンテスト

第一回 J・ドリスコール氏優勝

一昨年の第十二回世界仏教徒会議日本大会の記念事業として、「仏教英語学生 の養成」があり、主として仏教系大学の 学生が大会コンパニオン、通訳等で活躍 したが、大会終了後、当時の記念事業部 長山田一真師が中心となって、これら学 生を集め、「仏教英語研究会」を発足させ た。



全仏杯を受けるドリスコール氏

仏教英語研究会では、何回かの会議を 重ねた結果、昨年春に花山勝友氏を理事 長に迎え、この会を存続発展させるため 松涛弘道、小笠原隆元、佐伯真光、佐藤 良純、阪東性純、一島正真、市村承永、 奈良康明、鎌田良昭氏らを理事に迎えて 陣容をととのえた。そこで第一回のスピ ーチコンテストを行うことになり、去る 二月十一日午後一時半から、東京六本木 の国際文化会館で、十三名の発表者によ って行われた。テーマは「仏教と日本文 化」で熱弁が展開されたが、参加者中の 外国人二名中の一人である、ジョナサン ・ドリスコール氏が「比叡山における加 行について」を発表し見事優勝し、全仏 杯トロフィーを勝部組織局長より授与さ れた。また紅一点の小沢千代子氏も入賞 し仏教伝道会杯を授与された。

当日は審査員として、花山勝友、一島 正真、小笠原隆元、テリー・クリーマン の各氏が審査にあたったが、およそ三千 名の参加者があり賑わいをみせた。

昭和55年 3月 1日

全仏で推せん候補

第十二回参議院選挙に

来る第十二回参議院議員通常選挙にあたり、全日本仏教会では立候補予定者に推薦状を交付し、支援することとなった。この推薦は、加盟宗派、県仏、団体に對し、その推薦方を要請し、候補者が推薦団体と密接な関係を有する外護者、もしくはその可能性のあるものとして申請

のあったものである。

推薦候補者は、ほとんどが加盟宗派の檀信徒で、当選の暁には、強力なる佛法の護持者として大いに活躍が期待されます。関係各位の強力な支援が望まれます。

- ①推薦団体
- ②略歴
- ③現職

全 国 区

井上 孝 54歳 自民・新



①真宗大谷派②京都大学卒、前建設省道路局長、事務次官③建設省建設専門委員

源田 実 75歳 自民・現



①浄土真宗本願寺派②海軍大学卒、空将、航空幕僚長③自由民主党国防部長

長田 裕二 62歳 自民・現



①日蓮宗②東京大学卒、元郵政事務次官③科学技術庁長官

斉藤 栄三郎 66歳 自民・現



①日蓮宗②早稲田大学卒、日本経済新聞社、経済評論家③労働政務次官、立正大学教授

寺沼 幸子 53歳 自民・新



①真言宗智山派・豊山派②日本赤十字社甲種救護看護婦養成所卒、日本看護婦連盟書記長③前記連盟副会長

松浦 功 56歳 自民・新



①北海道仏②東京大学卒、元消防庁長官、元自治省事務次官③財団法人地方自治情報センタ―理事長

丸茂 重貞 63歳 自民・現



①群馬県仏②東京医学専門学校卒、日本医師会常任理事、元環境庁長官③鉄道建設審議会委員

地 方 区

北海道

岩本 政光 50歳 自民・新



①北海道仏②北海道大卒、北海パルプ工業取締役、道議、北海道ミンク農協組合長③東洋交通代表取締役

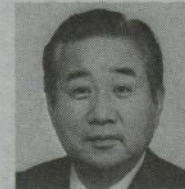
北海道

高木 正明 50歳 自民・新



①北海道仏②中央大卒、北海道炭礦汽船、北海道観光事業、箕輪登秘書、佐藤栄作秘書、北海道議

宮田 輝 58歳 自民・現



①和宗、犬鳴派、国分寺派、念法真教②明大専卒、NHKアナウンス主幹、前農林水産政務次官③自民党国民運動推進部長

山口 淑子 59歳 自民・現



①茨城県仏②北京翔教女学校卒、映画女優、TV司会者、党婦人局長、環境政務次官③党婦人局長

松本 英一 59歳 社会・現



①浄土真宗本願寺派②明治大学卒③建設業松本組取締役社長、建設委員会委員、部落解放同盟中央執行委員



秦野 神奈川県

章 68歳 自民・現
①神奈川県仏②日
大卒 警察庁警務
局長 警視總監③
党公害対策特別委
員長



最上 群馬県

進 38歳 自民・現
①群馬県仏②慶心
大卒 最上英子秘
書 群馬県議 県
連公害対策委員長
③県連常任顧問



福田 群馬県

宏 66歳 自民・新
①群馬県仏②県立
渋川高卒(旧中)
中島飛行機 福田
赴夫秘書



岩上 茨城県

二 65歳 自民・現
①茨城県仏②京都
大卒 瓜連町長
瓜連農協組合長
茨城高校長 茨城
県知事③農林水産
委員 県連顧問



熊谷 福井県

大三郎 72歳 自民・現
①本願寺派②京都
大卒 福井市長通
産政務次官 前科
学技術庁長官 原
子力委員長 県連
会長



長谷川 新潟県

信 60歳 自民・現
①新潟県仏②早稲
田第一高卒 長谷
川酒造代表取締役
宮内町議 新潟県
議 県連幹事長③
郵政政務次官



藤田 静岡県

栄 49歳 自民・新
①静岡県仏②早稲
田大学卒 静岡新
聞社編集局長③伊
豆新聞社長 県総
合開発審議委員
県社会教育委員



戸塚 静岡県

進也 39歳 自民・現
①静岡県仏②日本
大卒 掛川市議
静岡県議 党青年
局長③通産政務次
官



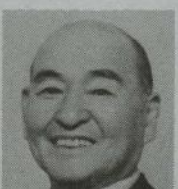
上田 京都府

稔 65歳 自民・現
①妙心寺派②京都
大卒 建設省河川
局長 北海道開発
政務次官③参院予
算委員 党同院議
員総会副会長



斉藤 三重県

十朗 40歳 自民・現
①三重県仏②慶心
大卒 厚生大臣秘
書官 大蔵政務次
官③参院商工委員
長



藤井 岐阜県

丙午 73歳 自民・現
①岐阜県仏②早稲
田大卒 八幡製鉄
副社長 九州石油
社長 国家公安委
員会委員 郵政審
議会々長



安田 石川県

隆明 62歳 自民・現
①真宗大谷派②石
川県立青年学校卒
石川県副知事 参
院国対副委員長
通商産業政務次官
③党国対副委員長



福岡 佐賀県

日出磨 68歳 自民・現
①本願寺派②上海
東亜同文書院 佐
賀県議 全国商工
会連合会長 県連
会長③参院商工委
員会委員長



園田 熊本県

清充 59歳 自民・現
①本願寺派②熊本
県議 全国都道府
県議長会副会長
農林水産委員長
農林政務次官③国
土庁長官



平井 香川県

卓志 47歳 自民・現
①香川県仏②学習
院大卒 政審法務
部会長 国民運動
本部副本部長③法
務政務次官 四国
新聞社主



中山 大阪府

太郎 55歳 自民・現
①国分寺派②大阪
府議 労働政務次
官 参院内閣委員
会委員長③参院連
営委員会委員長

WFB

バンコクで合同会議

鱒淵事務総長ら出席

昨年十二月十三、十四日の両日、タイ国バンコク市のWFB本部会議室において、WFB副会長、各常設委員長、執行委員の合同会議と、執行委員会が開催され、全仏(WFB日本センター)より、鱒淵正浩事務総長(WFB財政委員長)と、市村承秉(鎌田良昭執行委員の代理)が出席。十五日には出席者がカンボジア難民のサケオキャンプを視察した。

九項目の議案を審議

WFB副会長、各常設委員長、執行委員の合同会議は十一月十三日、バンコク市のWFB本部会議室にて開催され、ブーン会長の開会宣言につづいて、サンヤ副会長を議長に審議に入った。なお、開会にあたり、ブーン会長の健康と、最近チュラロンコーン大学より名誉博士号を授与された事に敬意を表して、テー・テン・チュー執行委員が挨拶、また鱒淵代表より、第十二回世界仏教徒大会実施に対するタイ本部の深い配慮に對し、また昨年十月に大谷全仏会長の公式訪問時に示された歓迎にそれぞれ感謝の意が表明された。

会議はサンヤ議長より、日本大会に対する日本側の労苦に感謝の言葉が述べられたあと議事に入った。
①ルンビニー開発計画について
開発計画の報告に対して、計画は莫大な資金を要するので、WFBの全てのセ

ンターの一致協力なしには成就されない(テー・テン・チュー委員)全仏教徒を象徴する「聖地の橋」建設について日本側の協力方を要請する(S・ミヤバラ委員)、などが話し合われた。また次の寄付金が寄せられているとの報告がなされた。
四万米ドル(以前から本部に寄せられている寄金、一十米ドル)シンガポールRC、六百米ドル(ハワイRC)、二千マレーシヤドル(セランゴールRC)
②第十三回世界仏教徒会議について
今年十一月二十一日より二十九日までの九日間、タイ国のバンコク、チェンマイにて開催すると報告された。
③決議案の実践について
過去の大会での決議案の採択されたものほとんどは、予算の問題もあり実践されていない。次期大会で検討するということになった。
④規約の修正について
スリランカRCより提案されているが

現状において敢えて修正する必要がないとの結論が出された。

⑤大会テーマについて

仏教と世界協同体(スリランカ)、現代生活における仏教の実践(タイ)が提出されているが、ホスト国にて検討することとなった。

⑥非仏教徒について

実際の討議には加えないが、セレモニには招いても良い。

⑦ユネスコNGOとしてのWFB

ユネスコのカテゴリAの中の非政府団体として格上げするよう、ユネスコに要請している事が確認された。

⑧チタゴンビルよりの要請

バンクラの内政干渉になるので手を打っていない。

⑨ブータンの加盟申込みについて

加盟申込みがあり事務的にすすめていく。

第22回の執行委員会

第二十二回WFB執行委員会は、十四日午前九時半より開かれ、ブーン会長挨拶のあと、議長にS・ミヤバラ氏を選出し、まず前日の合同会議の経過をテー・テン・チュー委員が報告したあと議事に入った。

⑩ルンビニー問題について

世界仏教を象徴する聖地に至る橋の建設をWFBとして実施目標としたい。費用は約二十七万六千ドル。橋の名称(仮称)「友情の橋」としたどうか。この実現については、資金調達こそ一番の問題

であり、日本、ソ連、蒙古センターをはじめ各センターにこの実現方をアピール現については、資金調達こそ一番の問題であり、日本、ソ連、蒙古センターをはじめ各センターにこの実現方をアピールすることとなった。

⑪難民キャンプについて

十二月十五日に全員で、プラチンプル県サケオキャンプを視察することが報告された。なお、十万一千バツの寄附金が、クレーオファン氏(マレーシア)、ピッチンフィ女史(シンガポール)より、タイ赤十字会の副会長であるマハ・チャクリ・スリドーン妃殿下を通じて難民に贈られたことが報告された。

⑫規約修正について

スリランカRCよりの提案であるが、前日の合同会議で協議の結果、次期大会で討議されたあとに再考し再提出すること、提案者側の了解を得たと報告。

⑬加盟申込みについて

チタゴン仏教会よりの加盟申請については、次期大会総会へ推薦することとなった。

⑭ウエサカ・ブツデー

この制定はきわめて難かしい問題であり、委員会を構成して、次期執行委員会に諮ることとした。

⑮ユネスコ賞に対する推薦について

事務局推薦の人権問題に対するユネスコ賞について、L・G・ヘワゲ教授を推薦することを確認した。

⑯その他について

二つの特別委員会できる

機構改革と同和問題

初会合から活発な審議

機構改革特委員会

全仏機構改革特別委員会が、昭和五十四年十二月二十一日午前十一時から京都浄土真宗本願寺派門徒会館にて行なわれた。出席は、小沢照禧真言宗智山派総務部長、土屋孝喜妙心寺派総務部長、小林隆彰天台宗総務部長、伊藤襄爾曹洞宗秘書室長、豊田英世日蓮宗庶務部長、藤音晃祐浄土真宗本願寺派総務、鈴木道雄真言宗豊山派岩脇財務部長代理、広島昭応真宗大谷派総務部長の八名が、全仏の機構改革について真剣に話し合った。

定刻より十分遅れ馬場庶務部長の司会にて開会。事務総長の挨拶のあと、加藤総務局長より、この委員会が出来た経緯を説明、座長を本願寺派の藤音総務にお願いをして議題に入った。

(イ) 昭和五十五年度全仏予算の件については委員より活発な質問がでたが、この委員会が予算の審議をする委員会ではないが、委員会として全仏事務局の原案通り理事会に提出することを了解する旨意見が一致した。

(ロ) 全仏事業計画の見直しの件については、十一月十二日の常務理事会にて早急に全仏の事業を見直し、それにもとづいた予算を立てよという御指示にもと

づき、時局対策を中心とし予算を今後、組んでゆくことを了解した。委員の間からも、全仏でなければ出来ない事業、また各宗派でもやっているような同じ性質のものは、この際思いきって切り、諸官庁との強力なパイ役になり、その情報を各宗派へ迅速に流して欲しい旨の発言があり、委員各位も賛同していた。またこの事業計画の見直しについては、次回この会議に全仏案を提示し、御審議いただくことで了解された。

(ハ) 理事定数の件については、事務局より理事の数が多く書類がなかなか整わないので登記できず、困っている旨の説明があり、登記する理事と、しなくても良い理事とに分ける案を次回迄に提示することにになった。

(ニ) 全仏会長の職務権限の件も、次回迄に全仏事務局案を提示することで了解された。

(ホ) 会長・理事長・事務総長・全仏役員の出選宗派の拡大の件については、昭和五十五年一月末日にて、会長・副会長・理事長・事務総長・局長の任期満了となるので、この委員会としては、従来通りのローテーションの通り、お引き受けいたさくよう、勧告したらどうかと委員各位より意見をいただいた。また会長職は、象徴であるのだから、もっと選出の範囲を拡大して候補が選べるようにすべきだという意見も出た。なおこの問題に関しては、全仏の負担金ともからんでくるため、事務局で案を作り次回の会議にでもう一度十分に審議する必要があると、委員各位より指摘された。

以上のような意見をまとめ、次回を二月中旬に開くことで了解され閉会した。

同和特別委員会

世界四十六ヶ国から宗教代表者がアメリカ・プリンストンに集い、世界宗教者平和会議(国際会議)が、昭和五十四年八月二十九日から十日間の日程で開催されました。

会議部門中の現実問題部会の席上にて報告された、日本部落民問題に対して日本代表団の一員として出席した、全日本仏教会理事長発言により、この問題は端を発したのであります。

その後、昭和五十四年十月十一日付の中外日報紙がこの発言問題を大きく報道し各界に注目を集めたのであります。

また、中外日報紙の報道により、この発言問題を知った部落解放同盟中央本部

委員長・松井久吉氏より、昭和五十四年十月三十日付にて、全日本仏教会理事長宛に「抗議書」が提出されました。

抗議書の内容について要約すれば、左記の通りです。

一、現実にある部落問題を否定している。なを根拠に否定するのか。
一、発言の中で「名譽」を問題にしている。すなわち、部落問題の存在を外国に知られることを「不名誉」と考えている。

一、部落民という文字す取りのぞげと主張している。

あなたがひろめられている仏教の教義には、差別されている民衆に対し、どう接しなければならぬかを説かれていないのか。

以上のような抗議書であります。全日本仏教会としてはこの問題について、重要即必要事項と考え、早速、常務理事会を招集し、同和問題を中心とした会議が行われたのであります。

第一回会議を、昭和五十四年十一月十二日、東京グランドホテル。第二回会議を、同年十一月二十七日に東京グランドホテルにおいて真剣に協議を重ねたのであります。

第一回会議では今後の全仏運営方針の再検討、時局問題の部落解放同盟中央本部に対する回答書作制を事務局に一任と決定し、散会いたしました。

第二回会議については、前回の会議の継続審議については、前回の会議の継続審議に入り、まず第一の、今後の全仏連

川崎大師で救ライに

二五〇万円を寄付

去る十二月十七日、川崎大師平間寺よりアジア救ライ協会に救ライに役立ててほしいと二百五十万円が寄付された。



高橋貫首より上田理事長に贈呈

これは、毎月、大師御縁日に本堂内陣において、婦人会の会員四十名程が御詠歌を唱えながら参詣者に募金を呼びかけ、その総額が一年間で二百三十万円となり、ライ病で苦しんでいる人々のお役に立ちたいとの願いから、川崎大師貫首高橋隆天現下が二十万円を加えて二百五十万円とし、アジア救ライ協会理事長上田常隆氏に全仏の仲介により手渡された。川崎大師では、四十九年、五十年にも救ライ協会へ寄付されているとのことである。

贈呈式には、高橋現下をはじめ、実際に募金にたずさわった婦人会の代表二名が出席、全仏の中村財務部長の紹介で救ライ協会の上田理事長が寄付金をおしいただくようにして受け取った。

なお、この浄財は、インドのアクラ診療所の電子顕微鏡の修理ならびに部品交換のための技師派遣費用に使わせていただくとの話であった。

カンボジア難民救援連絡協議会発足

情報資料の収集にあたる

カンボジア難民救済についての全仏としての対応策を協議するため、二月十四日午後一時半より、全仏会議室に關係加盟団体の代表が出席して、連絡協議が開催された。

西村輝成国際専門副委員長の議長により、まず積極的に取り組んでいる全仏

青より活動状況報告があり、ついで各宗派、県仏から報告がなされた。その結果全仏としては、各団体の協力を得て、難民問題の情報収集を行い、「カンボジア難民救援連絡協議会」を発足させ、月一度の資料収集、連絡などをすすめて行くこととなった。

国際専門委員会

全仏国際専門委員会(柳了堅委員長)では、一月三十日午後一時半より全仏会議室にて委員会を開催。①ルンビニ開発計画について、②WFB執行委員会の報告、③カンボジア難民救済運動について、④その他の議題について協議し、ルンビニ復興準備委員会の発足や、カンボジア難民の資料収集を話し合った。

WFB寄金

【東京都仏教連合会抜】
五万円 正見寺 善水寺

【東京浅草地区寺院有志】
参万円 称念寺

二万円 常福寺 玉宗寺 西福寺 龍宝寺 水見寺 栄敬寺 地藏院 最尊寺 西照寺 真照寺 来心寺 真福寺 光円寺

全仏事務総局人事

全日本仏教会事務総局では、任期満了に伴う役員人事を行い、次の通り決定した。

- 事務総長 日野 照護(大派) 新
 - 次長 小野島元雄(本派) 新
 - 総務局長 加藤 海晃(日蓮) 留
 - 組織局長 勝部 定昭(浄土) 新
 - 国際文化局長 安本 利正(曹洞) 留
- なお、齋藤正浩事務総長は理事長に就任。安藤義祐事務次長、龍山西成組織局長は退任されました。

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)

電話 代表(841) 4965

- 高師北斎漫画全五冊 二十五芳
- 島地黙雷書翰本 六芳
- 中国拓本寒山拾得 二芳
- 円覚寺堯己禪師書 三芳
- 西郷隆盛書複製 二芳
- 楊春桂画天台山図水墨 七芳
- 狩野宗益筆達摩図水墨 三芳
- 文信画布袋図彩色 二芳
- 中国小説集今古奇観八冊 二芳

右品譲度詳細を照会
いわき市上蓮野局区内 東光寺
電話〇二四六(八九) 三二〇
振替 郡山三八一九番

昭和55年3月1日

◇掲◇示◇板◇

浄土門主に高島聖下

▼浄土宗では、一月二十二日総本山知恩院において、岸信宏門主の遷化に伴う後任門主を選ぶ浄土門主推戴委員会を開き、後任に大本山清浄華院法主・高島寛我大僧正を選出した。

日蓮宗管長に金子犯下

▼日蓮宗では、望月日滋管長の任期満了に伴う管長推戴委員会を開き、第四十四代管長に大本山池上本門寺・金子日威貫首を推戴した。

曹洞宗人事

▼曹洞宗では、町田宗天宗務総長の任期満了に伴い、新しく岡田巳成師を選出した。

浄土宗人事

▼浄土宗では、稲岡寛順宗務総長の退任に伴い、新しく武田庵彦師を宗務総長に推挙した。

和宗人事

▼和宗四天王寺では、南谷惠澄執事長の退任に伴い、後任に森田禪朗師を選出した。

大阪府仏人事

▼大阪府仏教会では、役員任期満了につき、新会長に藤前東時師、事務局長に高倉正信師を選出。新事務局は大阪市東区本町四の二十七・本願寺津村別院内。

静岡県仏人事

▼静岡県仏教会では、役員任期満了に伴い、新しく会長・原田良道師、事務局長・山本俊幸師などを選出した。事務

局―沼津市獅子浜四七

東京都仏人事

▼東京都仏連合会では、郡司博道事務局長の退任に伴い、後任事務局長に畑直孝師を選出した。

上宮高が甲子園へ

▼今月甲子園球場で開かれる選抜高校野球大会に、大阪の上宮高校（浄土宗）が出場する。健闘を期待したい。

事務総局録事（二月）

（一月）

八日 局内会議

十二日 埼玉県仏新年会出席

十六日 仏教センター設立委員会

十八日 同和特別委員会

二十一日 局内会議

二十三日 自民党大会出席

二十五日 評議員会・理事会

新年懇親会

三十日 国際専門委員会

三十一日 日宗連理事会

（二月）

五日 局内会議

十一日 仏英研スピーチコンテスト

十二日 機構改革特別委員会

十三日 京都各山挨拶廻り

十四日 カンボジア難民救済連絡協議会

十五日 越前真宗四派との話し合い

十八日 仏教センター準備委員会

十九日 局内会議

二十三日 四国ブロック会議（松山）

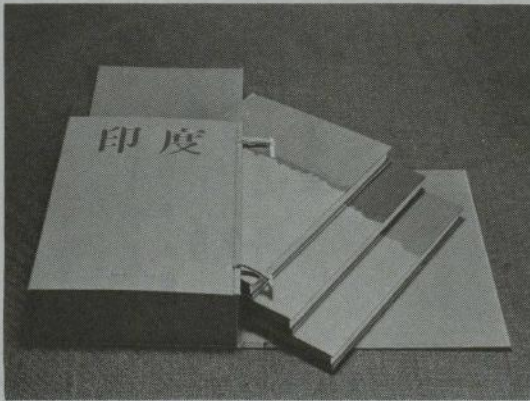
発行人 舘正浩
編集人 安本利正

発行所 財団法人 全日本仏教会

東京都港区芝公園四十七番三十三
電話〇三（四三七）九七五

豪華写真集

印度



全日本仏教会のご推薦をいただきました「印度」は、取材に3年、制作に1年の歳月をかけ、仏教を生んだインドの原点を追求、仏陀に編集の焦点を合わせた我国最初の写真集です。五〇〇余点にのぼる写真と各界一流の執筆陣による権威あるテキストは、仏教に深い関心のある方々にはビジュアルな参考書としてご期待に添えるものと思えます。

第一巻―仏陀の道 仏陀の生きた、歩いた、考えた道を自然風景をベースにした展開。

第二巻―刻まれた祈り インド仏教美術の全貌と、その美術がヒンドゥー美術に流れるまでを描く。

第三巻―豊饒の世界 仏陀を生んだインドの土壌は何か。インドの母なる大地をインドの人々の生きざまを自然、風景をおりまぜながら追求。

概要 A4判、天竺木綿ク

ロス映上製本、帖入り 各巻二四―二

一六頁、定価五七、〇〇〇円（分割払制あり）

発行 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

毎日新聞社内 毎日

コミュニケーションズ

パンフレット贈呈